

大学生の将来イメージ ～大学生価値意識調査より～

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 智之）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、大学生の生活・価値観の実態を明らかにするため、大学1年生～4年生を対象に調査を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【将来の明るさ】

- 社会人になるころの社会が、「明るい」「やや明るい」の合計（以下、「明るい・計」）は16.7%で、「明るくない」「あまり明るくない」の合計（以下、「明るくない・計」）46.8%に比べ30.1ポイント低い。学年別では、大学4年生「明るい・計」が21.8%で、大学1～3年生に比べ6ポイント以上高く、学年間で差がみられた。
- 自分自身の将来が「明るい・計」は36.1%で、「明るくない・計」27.9%に比べ8.2ポイント高い。学年別では、大学4年生「明るい・計」が45.0%で、大学1～3年生に比べ11ポイント以上高い。
- 社会人になるころの社会が「明るい・計」と思っている大学生のうち、91.0%は自分自身の将来も「明るい・計」と思っている。一方、社会人になるころの社会が「明るくない・計」と思っている大学生のうち、53.3%が自分自身の将来も「明るくない・計」と思っている。しかし、18.9%は自分自身の将来は「明るい・計」と思っており、社会人になるころの社会が「明るくない・計」からといって自分自身の将来も「明るくない・計」と思うわけではないということがわかる。

【将来の進路について考えるときの気持ち】

- 卒業後の将来の進路について考えるとき、「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」の合計は23.5%で、「不安な気持ち」「どちらかという不安」の合計58.3%と比べ34.8ポイント低い。
- 「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」と思う理由は、「新しいことをたくさん経験できそうだから」73.5%、「仕事を通して学べるが多そうだから」65.7%、「自分の可能性の広がりを感じられるから」64.1%であった。
- 「不安」「どちらかという不安」と思う理由は、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」81.0%、「社会・経済情勢が不安定だから」54.3%、「社会人になる自信がないから」48.9%であった。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 広報グループ宛
Mail: kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要／集計対象プロフィール	2
I. 将来の明るさ	3~5
1) 社会人になるころの社会の明るさ	3
2) 自分自身の将来の明るさ	4
3) 社会人になるころの社会の明るさと自分自身の将来の明るさ	5
II. 将来の進路について考えるときの気持ち	6~8
4) 大学卒業後の将来の進路について考えるときの気持ち	6
5) 大学卒業後の将来の進路について考えるときの気持ち「楽しい」と思う理由	7
6) 大学卒業後の将来の進路について考えるときの気持ち「不安」と思う理由	8

【調査概要】

- 調査目的
大学生の将来イメージに対する価値意識を把握する
- 調査期間
2012年11月28日～11月30日
- 調査方法
インターネット調査（調査協力：株式会社マクロミル）
- 調査対象
株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2012年11月時点の大学生1年生から4年生を調査対象とした
回収数は、学年・男女比が均等（各学年・男女515人）となるように設定した
- 有効回答数
4,120人

【集計対象プロフィール】

■ 学年・男女（全体／単一回答）

上段：回答数（人） 下段：全体に占める割合（%）	全体	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生
全体	4120 (100.0)	1030 (25.0)	1030 (25.0)	1030 (25.0)	1030 (25.0)
性別					
男性	2060 (50.0)	515 (12.5)	515 (12.5)	515 (12.5)	515 (12.5)
女性	2060 (50.0)	515 (12.5)	515 (12.5)	515 (12.5)	515 (12.5)

■ 文理系統（文系・理系学部系統選択者のみ／単一回答）

		文系	理系
●凡例			
全体	(n=3761)	58.2	41.8
性別			
男性	(n=1957)	50.0	50.0
女性	(n=1804)	67.2	32.8

■ 大学所在地（47都道府県選択者のみ／単一回答）

		関東	中部	近畿	その他地域・計
全体	(n=4110)	42.0	11.9	21.4	24.8

≪地域区分の内訳（以降のページも同様）≫

関東＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外

≪調査結果を見る際の注意点≫

※ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

1) 社会人になるころの社会の明るさ

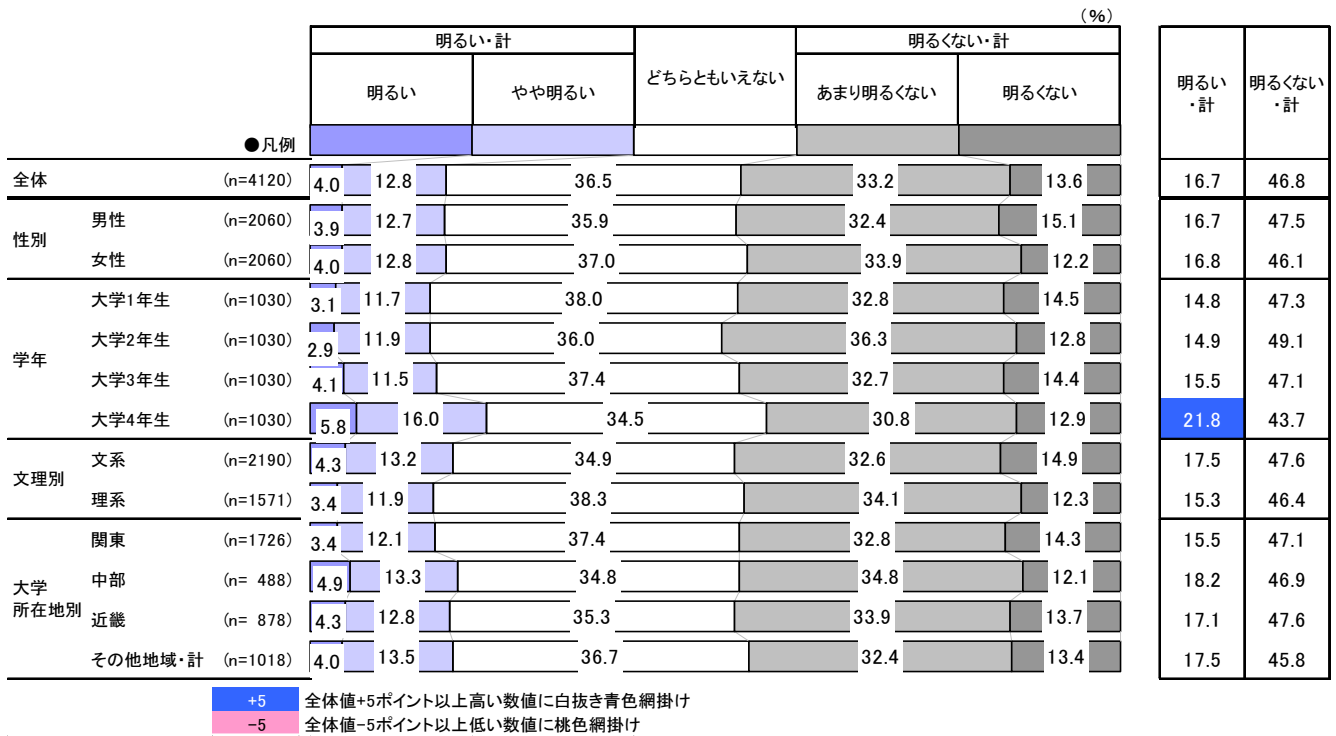
社会人になるころの社会の明るさは、「明るい」「やや明るい」の合計（以下、「明るい・計」）は16.7%で、「明るくない」「あまり明るくない」の合計（以下、「明るくない・計」）46.8%に比べ30.1ポイント低い。

学年別では、大学4年生「明るい・計」が21.8%で、大学1～3年生に比べ6ポイント以上高く、学年間で差がみられた。

■将来の明るさ: 社会人になるころの社会の明るさ（全体／単一回答）

質問:「あなたが社会人になるころの社会」は、明るいと思いますか。お気持ちに近い個所をお選びください。

※質問回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい・計」、「明るくない」「あまり明るくない」をあわせて「明るくない・計」とした。



2) 自分自身の将来の明るさ

自分自身の将来が、「明るい・計」は36.1%で、「明るくない・計」27.9%に比べ8.2ポイント高い。

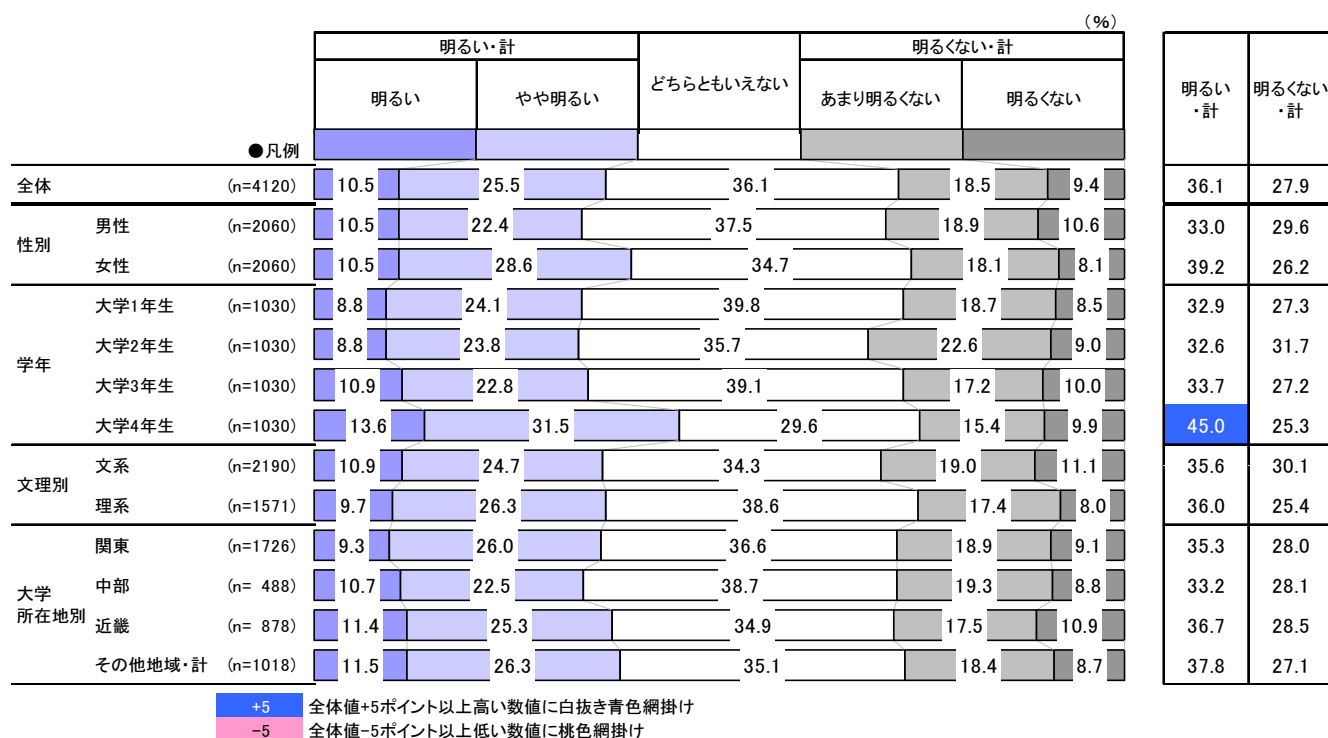
男女別では、女性「明るい・計」が39.2%で、男性33.0%に比べ6.2ポイント高く、性別によって差がみられた。

学年別では、大学4年生「明るい・計」が45.0%で、大学1～3年生に比べ11ポイント以上高い。

■将来の明るさ: 自分自身の将来の明るさ (全体/単一回答)

質問: 「あなた自身の将来」は、明るいと思いますか。お気持ちに近い個所をお選びください。

※質問回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい・計」、「明るくない」「あまり明るくない」をあわせて「明るくない・計」とした。



3) 社会人になるころの社会の明るさと自分自身の将来の明るさ

社会人になるころの社会が「明るい・計」と思っている大学生のうち、91.0%は自分自身の将来も「明るい・計」と思っており、自分自身の将来は「明るくない・計」と思っている人は3.5%であった。

一方、社会人になるころの社会が「明るくない・計」と思っている大学生のうち、53.3%が自分自身の将来も同様に「明るくない・計」と思っている。しかし18.9%は自分自身の将来は「明るい・計」と思っており、社会人になるころの社会が「明るくない・計」からといって必ずしも自分自身の将来が「明るくない・計」と思うわけではないことがわかる。

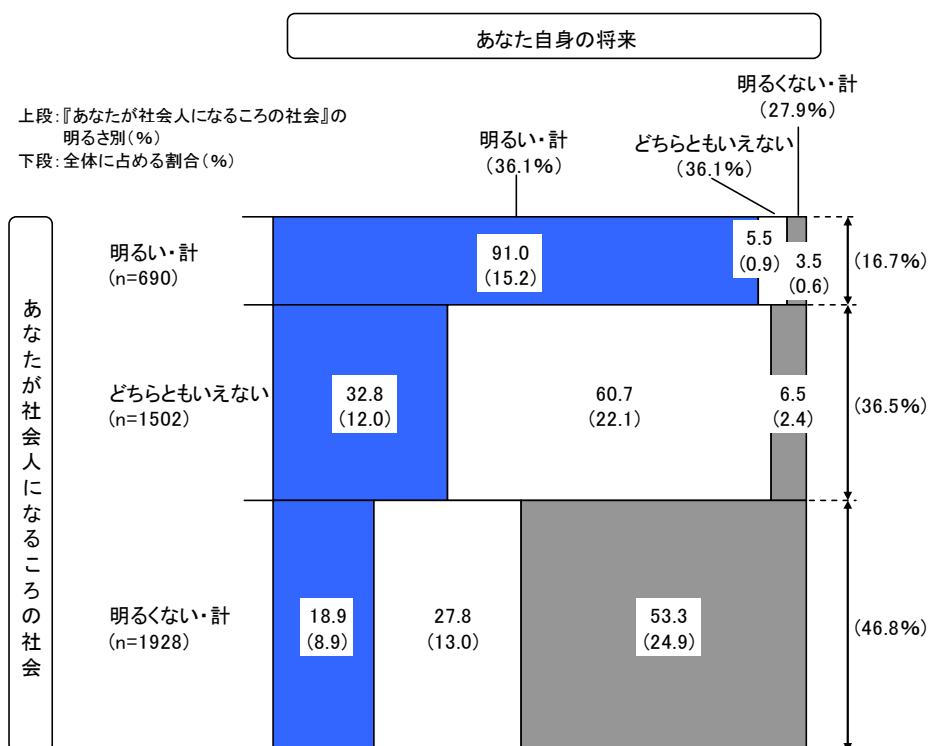
■ 将来の明るさ: 社会人になるころの社会の明るさ (全体/単一回答)

質問: 「あなたが社会人になるころの社会」は、明るいと思いますか。お気持ちに近い個所をお選びください。

■ 将来の明るさ: あなた自身の将来の明るさ (全体/単一回答)

質問: 「あなた自身の将来」は、明るいと思いますか。お気持ちに近い個所をお選びください。

※ 質問回答の「明るい」「やや明るい」をあわせて「明るい・計」、「明るくない」「あまり明るくない」をあわせて「明るくない・計」とした。



◇ 社会人になるころの将来と自分自身の将来が「明るい・計」と思う理由 (フリーコメントより抜粋)

- 「自分が前向きなら未来はどこでも明るいと思うから」
- 「そう思っておかないとつらいし、目標があるからそれに向かっての気持ちがある」
- 「わたし自身がどんな社会でも楽しめる自信があるから、いつでも明るいと思う」
- 「希望を抱いて生活しているから」
- 「私たちが担っていくこれから世の中は、よくなっていくと思うから」

◇ 社会人になるころの将来は「明るくない・計」が、自分自身の将来は「明るい・計」と思う理由 (フリーコメントより抜粋)

- 「どんな社会でも独立して生きていける力をつけることが目標だから」
- 「やる気を持って取り組めば、どんな環境でも輝けると思うから」
- 「景気がよくなるとは思えないが、自分自身はそれなりの生活ができれば明るいと感じられるから」
- 「景気は悪くなると思うが、自分には将来明確な目標があり、それに向かって邁進できそうだから」

『大学生の将来のイメージ』 II. 将来の進路について考えるときの気持ち

4) 大学卒業後の将来の進路について考えるときの気持ち

大学卒業後の将来の進路について考えるとき、「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」の合計（以下、「楽しい・計」）は23.5%で、「不安な気持ち」「どちらかという不安」の合計（以下、「不安・計」）58.3%と比べ34.8ポイント低い。

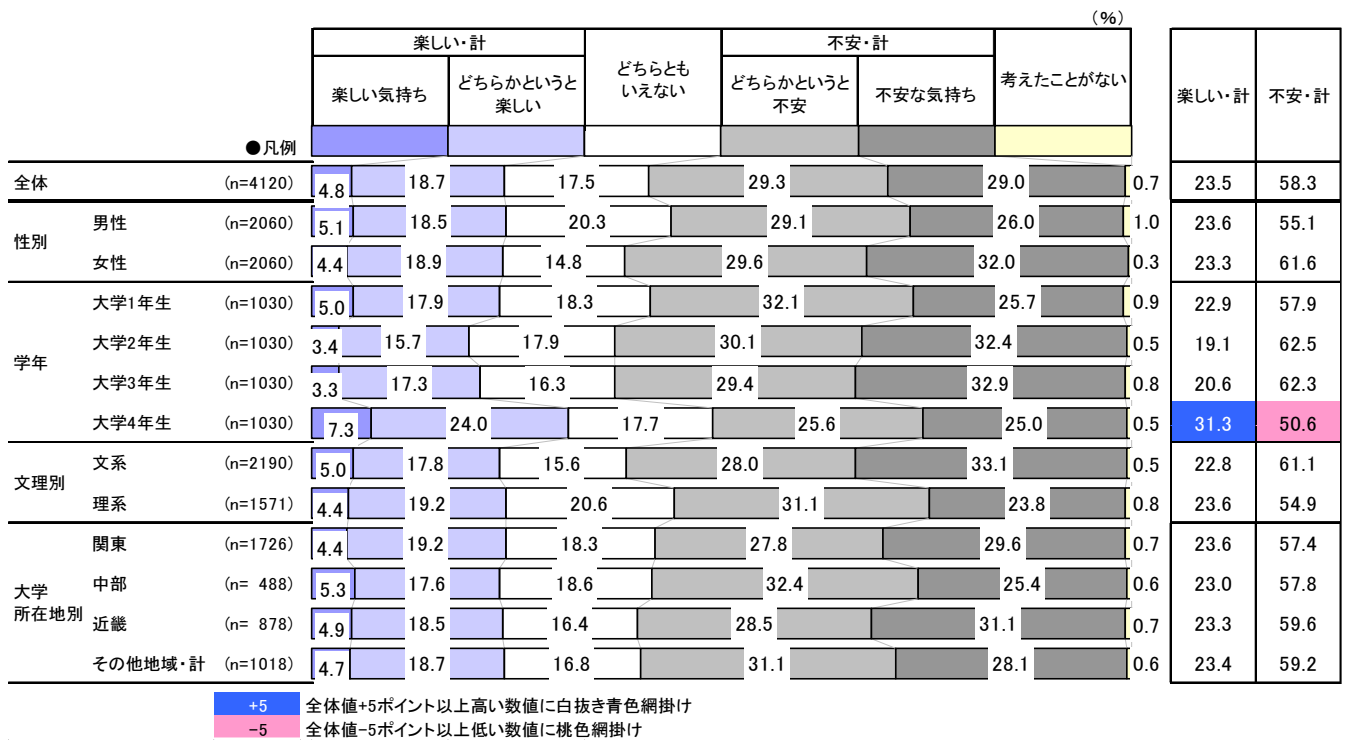
男女別では、女性「不安・計」が61.6%で、男性55.1%と比べ6.5ポイント高い。

学年別では、大学4年生「楽しい・計」が31.3%で、大学1～3年生と比べ8ポイント以上高い。

■将来の進路を考えるときの気持ち（全体／単一回答）

質問：大学を卒業後の将来の進路について考えるとき、どのような気持ちになりますか。お気持ちに近い個所をお選びください。

※質問回答の「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」をあわせて「楽しい・計」、「不安な気持ち」「どちらかという不安」をあわせて「不安・計」とした。



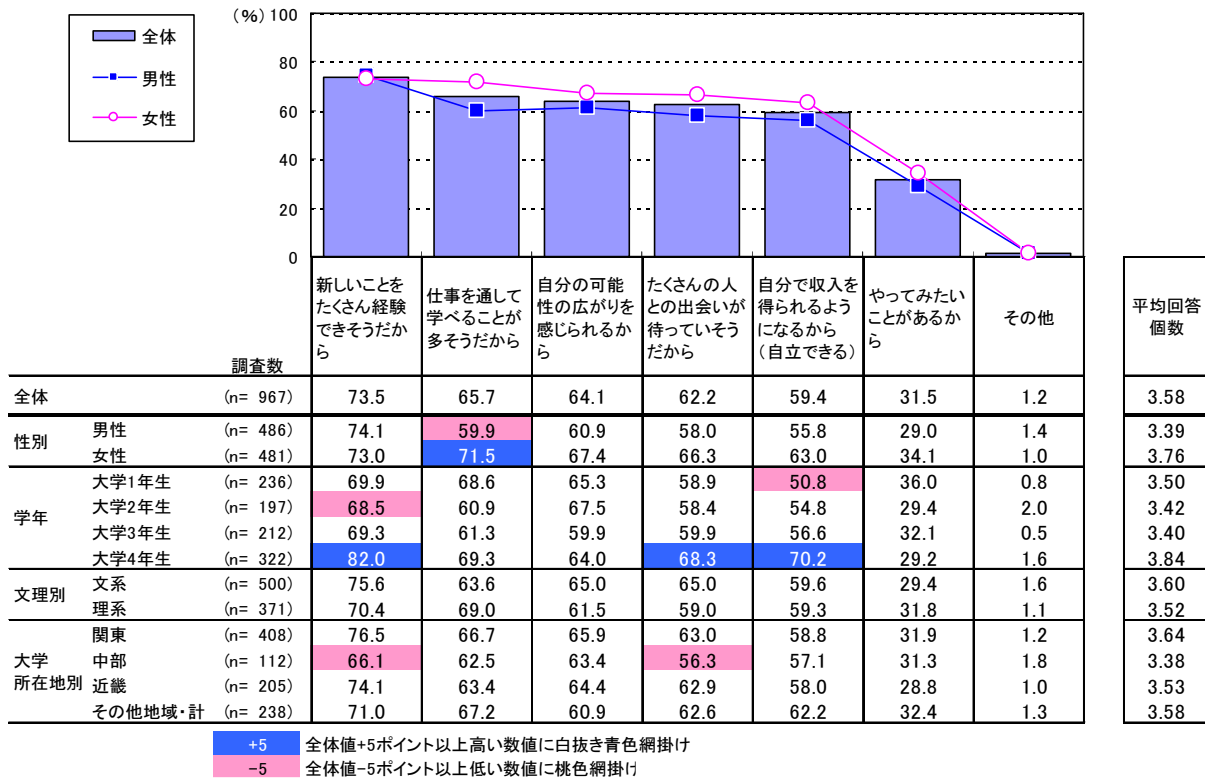
5) 大学卒業後の将来の進路について考えるときの気持ち：「楽しい」と思う理由

大学卒業後の将来の進路について「楽しい・計」と思う理由は、「新しいことをたくさん経験できそうだから」73.5%、「仕事を通して学べるが多そうだから」65.7%、「自分の可能性の広がりを感じられるから」64.1%であった。

男女別では、「仕事を通して学べるが多そうだから」「自分の可能性の広がりを感じられるから」「たくさんの人との出会いが待っていそうだから」「自分で収入を得られるようになるから（自立できる）」「やってみたいことがあるから」と思う女性が、男性と比べ5ポイント以上高い。

学年別では、「新しいことをたくさん経験できそうだから」「たくさんの人との出会いが待っていそうだから」「自分で収入を得られるようになるから（自立できる）」と思う大学4年生が、大学1～3年生と比べ8ポイント以上高い。

■ 将来の進路を考えたとき「楽しい」と思う理由（将来の進路を考えたとき「楽しい」「どちらかという楽しい」の選択者／複数回答）
 質問：大学を卒業後の将来の進路について考えるとき、楽しいと思う理由としてあてはまるものをお選びください。
 ※質問回答の「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」をあわせて「楽しい・計」とした。



6) 大学卒業後の将来の進路について考えるときの気持ち：「不安」と思う理由

大学卒業後の将来の進路を考えると「不安・計」と思う理由は、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」81.0%、「社会・経済情勢が不安定だから」54.3%、「社会人になる自信がないから」48.9%、「社会での人間関係が難しそうだから」46.4%であった。

男女別では、「社会人になる自信がないから」「社会での人間関係が難しそうだから」と思う女性が、男性と比べ8ポイント以上高い。一方、「就職してもいつ解雇されるかわからないから」と思う男性は女性と比べ5.0ポイント高く、性別によって差がみられた。

学年別では、「不安・計」と思っている大学1～3年生の9割近くが、また、大学4年生でも55.3%が「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」としている。

文理別では、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」と思う文系が83.0%で、理系77.8%と比べ5.2ポイント高い。

■ 将来の進路を考えると「不安」と思う理由（将来の進路を考えると「不安」「どちらかという不安」の選択者／複数回答）

質問：大学を卒業後の将来の進路について考えると、不安だと思う理由としてあてはまるものをお選びください。

※質問回答の「不安な気持ち」「どちらかという不安」をあわせて「不安・計」とした。

